

明けましておめでとうございます

ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

本年も幼稚園教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

残る3ヶ月間 園生活が充実したものとなり

次のステージにスムーズにつなげていけますように

新たな年がスタートしました。今年の子年。その子年を調べてみると『植物が循環する様子を表している十二支の一番目に「子」がきているように、子年を植物にたとえると新しい生命が種子の中にきざし始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられている』とありました。まさに、幼保連携型認定こども園としての『おがのこども園』がスタートする年です。

幼稚園では、園舎を活用して始まる『おがのこども園』が順調にスタートできるように、保育所や行政との連携を蜜にしながらこれまで進めてまいりました。環境的な事項として、保育室内の棚をきれいに塗り替えたことにより明るさが増しました。また、1階の保育室前のテラスには、センサー付きの照明が設置され暗い中での歩行が改善されたり、幼児用トイレのドアも付け替えて安全面への配慮が更に加えられました。

職員同士の共通理解も様々な形で進められてきました。互いの職場を理解するための保育体験の他に、各施設で行うこどもの祭りや運動会の様子を見学したり、保育に関する研修も重ねてきました。こども園の教育や保育の大本となる全体計画の作成には全職員が参加し、現在は、より具体的な計画を職員が作成しています。子供たちも交流を重ねていくうちに、安心して思う気持ちが大きくなり、自ら行動する姿が見られるようになってきました。

いよいよ残り3ヶ月。幼稚園は、幼稚園としてのゴールに無事に到達し、最後をしっかりと締めくくることができるよう職員が一丸となって取り組んでいくことを全職員で再確認しました。

子供たちには、『楽しい思い出とともに勇気とやる気をもたせて1年生に送り出した。』『これまでの成長を確認するとともに課題となる事項を少しでも良い方向に向かわせ、新たにスタートする「こども園」につなげていきたい。』と思っています。

園長 石川 久子